

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年12月24日（水）

### 2 確認箇所

- ・固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地（図1）
- ・コンクリートプラント建設予定地（図1）

### 3 確認項目

- （1）固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地の状況
- （2）コンクリートプラント設置工事の状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地の状況

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消を進めている。この取り組みの一環として、固体廃棄物貯蔵庫第11棟（以下「第11棟」という。）を建設し、廃炉作業にて発生する瓦礫類（減容処理設備にて減容処理した瓦礫類を含む）及び焼却設備により発生する焼却灰等の放射性固体廃棄物などを、容器に収納した状態で一時保管する計画としている。

今回は、固体廃棄物貯蔵庫第10棟の西側に位置する第11棟建設予定地の状況を確認した。（前回確認：令和7年11月10日）

- ・前回確認時と比べて、建設予定地の北側では、鋼矢板の設置が進んでいた。（写真1）
- ・南側では盛土の法面を重機による削り取り、発生した土砂の搬出作業が行われていた。（写真2）
- ・作業エリアごとに監視員が配置されており、安全に作業が進められていた。

#### （2）コンクリートプラント設置工事の状況

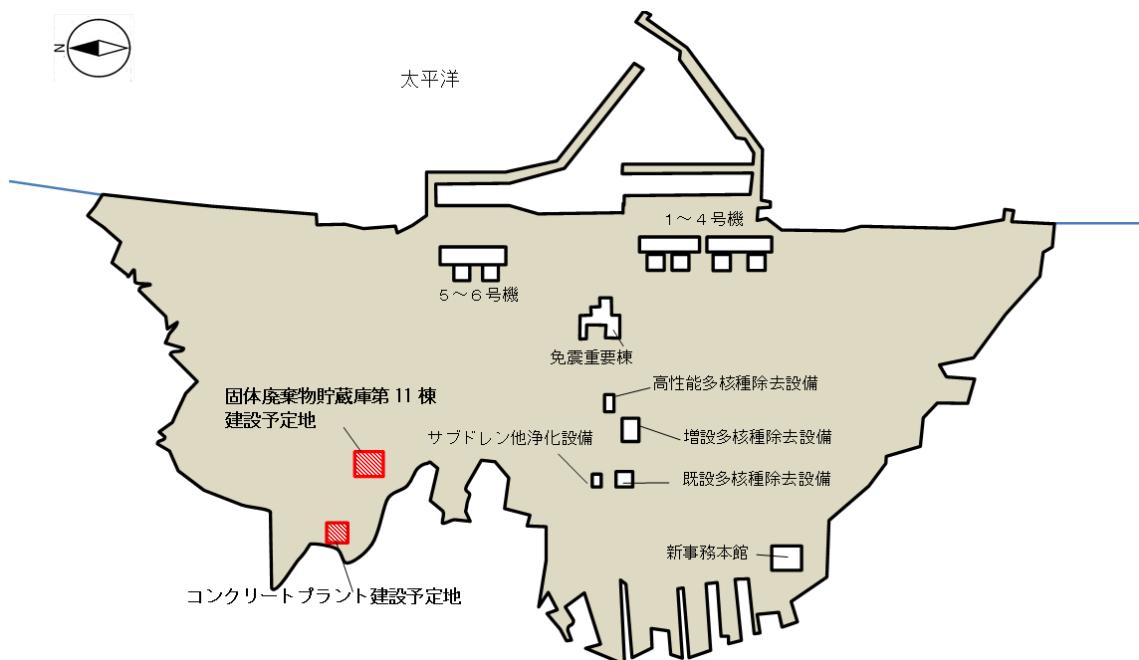
東京電力は、第11棟を始めとする廃炉関連施設の建設工事を円滑に進めるため、福島第一原子力発電所敷地の近傍にコンクリート製造を行う新たなプラント（以下「コンクリートプラント」という。）を設置する計画としている。

今回は、コンクリートプラント設置工事の状況を確認した。（前回確認：令和7年10月23日）

- ・コンクリートプラント建設予定地において、設置予定の大部分の設備（骨材貯蔵設備<sup>※1</sup>、バッチャープラント<sup>※2</sup>等）の設置が完了していた。（写真3）
- ・設置作業が進められている水処理設備はコンクリートミキサー車の洗浄等で発生する濁った塩基性の水に対し、固形分の除去及び中和等を行う設備である。（写真4）
- ・2基のバッチャープラントのうち、1基はJ I S（日本産業規格）の認定検査に用いる試験用のコンクリートを作製していた。
- ・バッチャープラントの運転は管理事務所2階の操作P Cによる遠隔操作で行っており、ほとんどの操作は遠隔操作可能とのことであった。（写真5）

※1 骨材貯蔵設備：コンクリートの主原料となる砂や砂利などの骨材を一時的に保管する設備。

※2 バッチャープラント：骨材、セメント、水及び混和剤などを所定の配合で混合し、コンクリートを製造する設備。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 山留め工事の状況①  
(前回：令和7年11月10日撮影)



(写真1②) 山留め工事の状況②  
(今回：令和7年12月24日撮影)



(写真2①) 土砂搬出の様子①



(写真2②) 土砂搬出の様子②



(写真3①) 骨材貯蔵設備



(写真3②) バッチャープラント



(写真4) 水処理設備



(写真5) 操作PCの画面

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。